



①「色絵染付鮑形鉢」1935-44年

新潟市政令指定都市移行10周年記念
BSN新潟放送創立65周年記念
世田谷美術館所蔵 塩田コレクション
北大路
魯山人
美・食の巨人

展覧会 2017年6月3日(土)～7月23日(日) / 開場式・内覧会 6月2日(金) 午後2時～

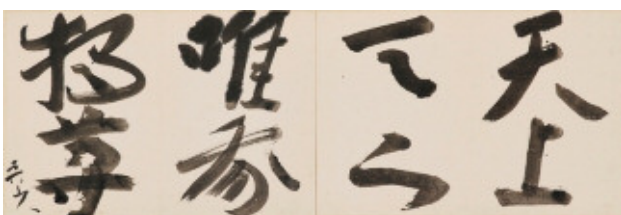
書から陶芸、そして漆芸まで。「美」と「食」をつないだ巨人・北大路魯山人。

その生涯の仕事をもっと詳しく紹介する新潟では初めての展覧会

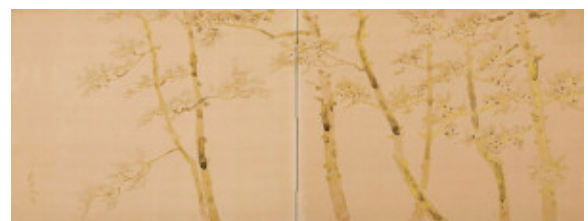
■北大路魯山人 きたおおじ・ろさんじん (1883-1959 / 本名:房次郎)
京都生まれ。15歳頃から書の才能を発揮し、書家を志して1903年上京。翌1904年には、隸書「千字文」で第36回日本美術展覧会の書道の部で一等賞二席を受賞するなど、次第に名を広め、書・篆刻・刻字看板の制作で身を立てるようになります。その一方、朝鮮・中国への旅や、素封家たちとの交流を通して美意識を磨き、1919年に中村竹四郎とともに美術骨董の店「大雅堂美術店」を開業。1921年38歳の時には、その階上に会員制食堂「美食倶楽部」を開きます。「美食倶楽部」はやがて料亭「星岡茶寮(ほしがおかさりょう)」へと発展。自作の器で客に料理を供したいと考えた魯山人が、本格的な作陶活動に入るのは40歳を過ぎてからのことです。1936年「星岡茶寮」を退いた後も、多くの支持者を得て、北鎌倉の窯場を拠点に陶磁器や漆器、書画の制作に励みました。



②
北大路魯山人
1955年頃
(平野庸子氏提供)



③「天上天下唯我独尊」1940年



④「松風」制作年不詳

本展のみどころ【1】

新潟初！魯山人芸術を一望

世田谷美術館の全面的な協力を得て、同館に寄贈されている故・塩田岩治氏旧蔵コレクション約 150 点を展示。魯山人の初期から晩年まで、書画・陶芸・漆芸と幅広い分野にわたる創作を一望するラインナップで、新潟初の本格的な魯山人展が実現します。時に豪快、時に優美な魯山人の書。その自在な筆さばきは、陶磁器の絵付けにも通じています。日本の伝統に新たな生命を吹き込んだ織部や志野、そして漆芸など、他に例のない絢爛たる才能の全貌を紹介します。



⑤「織部扇面鉢」1935-54年

本展のみどころ【2】

実はいい人？魯山人の人柄

塩田岩治氏(1895-1983)は「株式会社利根ボーリング」の創業者。魯山人の長年にわたる支援者であり、自ら魯山人に師事して陶芸を学びました。複雑な人柄で知られる魯山人ですが、塩田氏のごことは親しみをこめて「利根坊」と呼んでいたとか。「塩田コレクション」には 2 人の親交を伝える品も多く、意外な温かさやユーモアがにじみだしています。



⑥「日月椀」1937年

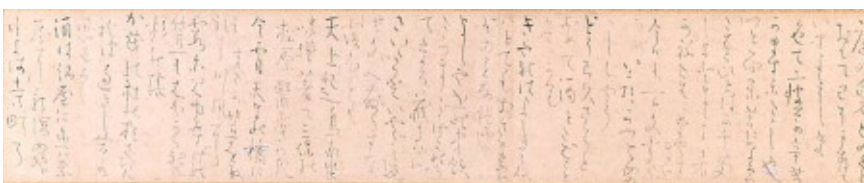
本展のみどころ【3】

魯山人と新潟とのつながり

美しいもの・面白いもの・おいしいものを探し求め、各地を旅した魯山人は、新潟にも足跡を残しています。本展では、名物メニュー「わっぱ飯」に助言を受けるなど、魯山人との親交が厚い「新潟 郷土料理 田舎家」(中央区古町通9番町)所蔵の器。そして、糸魚川の詩人・相馬御風(そうま・ぎよふう 1883-1950)宛ての良寛遺墨に関する熱烈な魯山人書簡もご紹介します。また、BSN 新潟放送より新潟市美術館に寄託されている良寛の書も併せて展示します。



⑦「雲錦大鉢」1940年



⑨良寛「俗謡十三首」 BSN 新潟放送寄託



⑧「土釜『利根坊耳を作る』」
1935-44年

基本情報

展覧会名	新潟市・政令指定都市移行 10 周年 BSN新潟放送創立 65 周年記念 世田谷美術館所蔵 塩田コレクション 北大路魯山人 一美・食の巨人— ※掲載スペースが少ない場合、青文字部分は省略表記可能
会場	新潟市美術館（企画展示室） 〒951-8556 新潟市中央区西大畑町 5191-9
会期	2017 年 6 月 3 日（土）～7 月 23 日（日） 45 日間
開場式	2017 年 6 月 2 日（金）午後 2 時～
休館日	月曜日 ※ただし 7 月 17 日(月・祝)は開館
開館時間	午前 9 時 30 分～午後 6 時 ※観覧券の販売は閉館の 30 分前まで
観覧料	一般 1,000 円（800 円）、大学生・高校生 800 円（600 円）、中学生以下無料 ※（ ）は前売・団体（20 人以上）およびリピーター割引料金 ※ 前売は一般のみ
主催	新潟市美術館、 BSN新潟放送
共催	新潟日報社
特別協賛	三井ホーム 北新越ホーム株式会社
協力	世田谷美術館（公益財団法人せたがや文化財団）
お問合せ先	新潟市美術館（担当：松沢寿重、上池仁子） 〒951-8556 新潟市中央区西大畑町 5191-9 TEL: 025-223-1622 FAX: 025-228-3051 E-mail: museum@city.niigata.lg.jp

関連事業

- 1 講演会「北大路魯山人——人と作品」 講師：清水真砂氏（世田谷美術館学芸員）
日時：6 月 17 日（土） 午後 2 時～（90 分程度）
会場：新潟市美術館 講堂 先着定員 100 名、聴講無料、事前申込み不要
- 2 みどころ解説（当館学芸員のショートレクチャー）
日時：6 月 10 日（土）、24 日（土）、7 月 1 日（土）、8 日（土） 各日 14 時～（約 30 分）
会場：新潟市美術館 講堂 先着定員 100 名、聴講無料、事前申込み不要

備考

★本リリースに掲載の画像①～⑨については、すべてデータでのご提供が可能です。
（ただし、ご使用は本展をご紹介いただける場合に限らせていただきます。）

★特記のない画像は全て、世田谷美術館所蔵の北大路魯山人作品です。

「北大路魯山人 —美・食の巨人—」

開場式取材・チケットプレゼント・記事掲載申込書 (FAX 専用)

FAX 送信番号：025-228-3051 新潟市美術館宛

- ◆開場式（2017年6月2日午後2時～）の取材、記事掲載時の作品写真（画像データ）及び読者プレゼント招待券を希望される方は、本用紙に必要事項をご記入の上、FAXでお申し込みください。
- ◆記事内容は必ず事前に確認させていただきますよう、お願いいたします。
- ◆チケットプレゼントの提供は1媒体につき10組20名様を上限とし、本展をご紹介いただける場合に限らせていただきます。
- ◆読者プレゼントの宛先は貴社とし、抽選、当選者への発送は貴社にてご手配ください。当館から当選者への発送はいたしません。
- ◆掲載された媒体は、1部ご恵与ください。

○をおつけください	取材希望 ・ チケットプレゼント希望 ・ 記事掲載希望
貴社名	
ご担当者名	
ご連絡先	
ご住所 (チケットプレゼント送付先)	〒
メールアドレス (データ送付先)	
ご媒体名	
取材予定日	6月2日開場式・開場式以降 (月 日 時頃) ・取材予定なし
取材スタッフ	計 名 (内カメラクルー 名)
掲載・放映予定日	月 日
チケットプレゼント希望	組 枚 ※1媒体につき10組20名様まで
通信欄 ※画像を希望する場合は、該当する画像の番号を記してください。	